

サンケイビルウェルケア 介護付有料老人ホーム

ウェルケアテラス 新座

2017年3月1日（水）オープン

～昨日より今日を元気に 今日より明日を元気に～

<http://www.sankeiwellcare.com/>

株式会社サンケイビル（本社 東京都千代田区大手町、代表取締役社長 飯島一暢）の100%出資子会社で、有料老人ホームの運営を行う、株式会社サンケイビルウェルケア（本店 東京都千代田区大手町、代表取締役社長 金井岳弘）は、埼玉県新座市に6棟目となる介護付有料老人ホーム「ウェルケアテラス新座」を2017年3月1日に開設いたします。



■ 介護付有料老人ホーム「ウェルケアテラス新座」の特徴



2.5人に1人の
介護・
看護スタッフ



24時間
看護スタッフが
常駐



パワーリハビリ
テーション



医療機関
との連携

◆ 2.5人に1人の介護・看護スタッフ

ご入居者2.5人に1人以上の介護・看護スタッフを配置し、日々、ご安心していただける体制を整え、ご入居者のサポートを行います。

◆ 24時間看護スタッフが常駐

館内に365日24時間看護スタッフが常駐。緊急時にも迅速に対応します。

◆ パワーリハビリテーション

「自立支援介護」理論に基づいて開発された生活動作を楽にする運動、リハビリテーションを実施。無理のない運動で機能回復をはかります。

◆ 医療機関との連携

ホームドクターとして提携医療機関の医師が定期的に診察。他の医療機関への通院が必要なご入居者の状態は提携医療機関の医師と共有します。

<リハビリテーション>

常駐の機能訓練指導員（理学療法士）がお一人おひとりのニーズに応じた個別のリハビリテーションプログラムを作成し、日常生活に必要な動きの回復を目指します。



<お食事>

十分な水分摂取とバランスの良いお食事は、健康な生活の基盤です。ホーム内のキッチンで、新鮮な旬の食材に料理長が腕をふるいます。

（お食事例）



朝食（和食）



朝食（洋食）



夕食

<建物設備>

●開放的なアプローチをもつ、3階建て80室（全室個室）の建物。

エントランスは明るくゆったりとしたイメージで、エントランス正面に掲げてあるアートは様々な色を使い、「四季のイメージ」と「今後の様々な人生をお迎えする思い」を表現したオリジナルアートを設置しています。

また、共有スペースを各フロアに設け、ご家族やお仲間と過ごす団らの時間を大切にしています。



エントランス



ファイバーアート
（作：佐伯和子）



共有スペース

●さわるアート（2、3階リビング前廊下）

右と左のパネルは、「たたくパネル」。たたくとタンバリンの音になり、楽しみながら、手を上げていただく動作を誘います。

真ん中は、「フラワーアート」。生花を飾ることも可能で、季節に応じたお花を飾り、四季を楽しむことができるようになっています。



●自立支援介護理論に基づいた「元気になる介護」のための取り組み例



①



②



③

- ①Value aging（以下、VA）ソファ（ウェルケアカスタマイズチェア）
 体を支える形状、移乗介助しやすいアーム形状になっています。両サイドのクッションは隙間を埋めるためのVAクッション。
- ②背もたれで身体をホールドできる形状で、座位が安定しやすくなっています。
 VAソファ（①）で座位がある程度保てるようになられた次の段階で使用いただきます。
- ③座った時に骨盤をしっかりと支える形状の背もたれになっています。また、長時間座っていてもお尻が楽な座面の硬さになっています。
 さらに、椅子の前足にはキャスターを取り付け、移動がしやすいよう設計されています。

※②と③の椅子の座面の高さは3種類（42cm、40cm、38cm）。足がしっかり床につくよう、下腿長に合わせた椅子を選択が可能です。
 ※色合いに、赤やオレンジ系が多いのは、交換神経を刺激し、元気を出す効果があるため。

●コミュニケーションにこだわった六角形テーブル

お互いの顔が見やすく、コミュニケーションがとりやすいよう、また、介助者が間に入りやすいように六角形に設計されています。



●足暖機：「アシムス」設置

衣類をきたまま利用可能。
 ボイラーから生み出される極小粒子のスチームが衣類を通過して肌を直接暖め、同時に温風は衣類の表面を乾かすことで快適な状態を保ちます。



■「ウェルケアテラス新座」の施設概要

所在地	埼玉県新座市野火止7丁目12-14
交通	<電車の場合> ・JR武蔵野線 新座駅より徒歩15分 ・東武東上線朝霞台駅南口から西武バス新座営業所またはひばりヶ丘駅北口行き「野火止大門」下車徒歩7分。(550m) ・東武東上線志木駅南口から西武バス新座営業所（菅沢中央経由）またはひばりヶ丘駅北口行き「野火止角」下車徒歩7分。(550m) <お車の場合> 東京外環自動車道 和光インターから約20分 関越自動車道 所沢インターから約15分
類型	介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）
敷地面積	2,537.54m ²
延床面積	3,082.30m ²
居室総数	80室（定員80名）
居室面積	18.00m ² ～19.08m ²
共有設備	ダイニング（食堂兼機能訓練室）、リビングルーム（2・3階）、リハビリテーション室、個人浴室、健康管理室、相談室、ランドリー、理美容室、駐車場 他
開設日	2017年3月1日
設計者	株式会社タイト一級建築士事務所
設計監理者	株式会社タイト一級建築士事務所
施工	近藤建設株式会社

■ 施設料金

入居前払金 588 万円（非課税） 月額利用料 197,000 円（税別）

※月額利用料金には、介護保険自己負担額、医療費（訪問歯科 訪問マッサージ含む）、嗜好品、介護用品（おむつ等）、お部屋で使用される消耗品、理美容費、追加サービス等は含まれておらず、別途実費負担となります。入居前払金 0 円のプラン等もございます。詳しくはサンケイビルウェルケアホームページをご参照ください。

<サンケイビルウェルケアの取り組み>

●「自立支援介護」と「つながり社会」

「自立支援介護」とは、サンケイビルウェルケア顧問で国際医療福祉大学大学院教授の竹内孝仁氏が提唱する介護手法で、「水分摂取、食事、運動、排泄」の実践活動によって、ご本人の体調を整え、活動性を上げることで体力を回復し、意欲や活力を取り戻すことを基本精神とするものです。



竹内孝仁氏

サンケイビルウェルケアでは、「自立支援介護」を実践することにより、ご入居者の方々に元気になっていただき、ご自身でやれること、やりたいことを選択肢や可能性を増やし、今までのように社会や地域とつながった生活を再び行っていただきたいと考えています。

※自立支援介護の4つの基本

日常で行われる「水分摂取」、「食事」、「運動」、「排泄」は健康な体作りに密接に作用します。これら4つの基本動作を理論化して実践します。

- [水分摂取] 水は生命の源であると共に活動の源です。1日 1500ml 以上の水分を摂取することで細胞レベルから体を活性化します。
- [食 事] 食事は、活動の源です。常食は、食事の楽しみを増やすと共に人との交流の場を与えてくれます。また、食物をよく噛むことで脳は活性化していきます。
- [運 動] 高齢者に最も適した運動は「歩行」です。歩行は生活動作の基盤となり自立した生活を支えます。その他にも、ご本人に応じたリハビリテーションプログラムを作成し、実践します。
- [排 泄] おむつは、自尊心を奪います。下剤を使わない自然な排便は、身体的にも精神的にも良好な状態を作ります。「水分摂取」、「食事」、「運動」を毎日繰り返すことにより体に自然なリズムが生まれ、おむつのいらぬ生活が可能になります。

【株式会社サンケイビルウェルケア 会社情報】

設 立 日 2011年4月1日
資 本 金 1億円
株 主 構 成 株式会社サンケイビル 100%
主 な 業 務 内 容 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の運営

サンケイビルウェルケアでは、「Value aging(バリューエイジング)」をコンセプトにご本人の自立を支援し、豊かに暮らし続ける事を目指す介護サービスを実践していきます。



本資料の配布先：厚生労働省記者会、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

【本件に関するお問合せ先】

株式会社サンケイビルウェルケア 営業部 田谷(広報担当)

TEL (03)5577-3261 FAX (03)5577-3262 MAIL press@sankeiwellcare.com